

自己評価票

A. 訪問看護機関・施設の機能評価

i 運営理念・組織

1. 組織を運営するための理念を明示し、職員に徹底していますか。
 3. 組織を運営するための基本的な考え方、職業倫理、価値観、社会的有用性などをふまえた理念を明示し、職員に徹底している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 組織を運営するための理念が職員にあまり徹底していない。
2. 利用者・家族が自己決定できるように必要な情報を提供していますか。
 3. 利用者・家族が自己決定できるように必要な情報を提供している。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 上記の内容を配慮したサービスの提供はあまりできていない。
3. 事業運営の達成目標を定めていますか。
 3. 事業の運営について評価・修正が可能な年次計画を設定している。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 事業運営の達成目標はあいまいで、年次計画の評価・修正はあまり行っていない。
4. 訪問看護事業に関係する法律や制度の情報を把握していますか。
 3. 訪問看護事業に関係する法律や制度に関する情報を入手できるシステムや経路がある。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 上記の情報把握はあまりできていない。
5. 訪問看護事業所内で運営会議を定期的に行っていますか。
 3. 訪問看護事業所内で事業を円滑に進めるための運営会議を年に数回開いている。
 2. ほぼできている。
 1. あまりできていない。

ii 経営・人事・労務管理

6. 訪問看護事業の収支予測または損益の状況を判定し、経営の安定化を図っていますか。
 3. 利益の推移状況と資金の動向を把握し、収支（損益と資金の動き）を予測し、経営の安定化を図っている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 収支予測は不十分で、あまりできていない。
7. 経営診断を行う機関を確保し、経営管理に活かしていますか。
3. 経営診断の判定や助言を行う機関（機関の経理担当者、公認会計士、税理士、経営コンサルタント等）を確保しており、経営管理に十分に活かしている。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 経営診断を行う機関を確保しておらず、経営管理が不十分である。
8. 利用者確保の方策を検討し、実施していますか。
3. 利用見込み者などの市場調査、関係機関や住民へのPRなどにより、利用者の開拓方法を検討し、一定数以上を確保している。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 利用者開拓の方策はあまり検討しておらず、一定数以上の確保ができないことがある。
9. 利用者が活用できる保健医療福祉施設やサービスの有無、利用状況などについて必要な情報収集を行っていますか。
3. 適切な経営管理を図るために、上記の内容について必要な情報収集を行っている。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 情報収集はあまりできていない。
10. 職員全員が就業規則を理解していますか。
3. 職員に就業規則を周知し、職員全員がそれをよく理解している。
 2. ほぼ理解している。
 1. あまり理解できていない。
11. 社会保険制度や労働基準法、社会保険関連法などの基準を適用していますか。
3. 基準に従い適用している。
 2. ほぼ適用している。
 1. あまり適用できていない。
12. 適切な人員配置や勤務体制を整えていますか。
3. 適切な人員配置および交代要員を確保し、労働基準法に則った勤務体制を整えている。
 2. 上記の内容がほぼできているが、一部不十分である。
 1. 上記の勤務体制を十分整えていない。

13. 管理者とスタッフの役割分担や業務調整を行っていますか。

3. 十分に行っている。
2. 不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. あまりできていない。

14. 訪問看護師として適切な人材を確保していますか。

3. 採用基準を定め、適切な人材が十分に確保できている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 採用基準があいまいで、あまり適切な人材を確保できていない。

iii 看護サービスの運営基準

15. 利用者へサービスの内容をわかりやすく説明していますか。

3. サービス内容や費用などを具体的に記載した文書を用いて、利用者・家族にわかりやすく説明している。
2. 上記の内容はほぼできているが、一部不十分な点がある。
1. 説明は不十分でわかりにくいことが多い。

16. サービスの申し込み方法や利用に関する手順を定めていますか。

3. 訪問看護サービスの依頼方法や利用者との契約、サービス提供の手順に関するマニュアルを作成し、迅速な対応ができている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. それらの手順はあいまいである。

17. 24時間体制でサービス対応をしていますか。

3. 24時間常時連絡が可能な体制を取り、必要時には夜間・深夜・早朝・休日にも訪問看護を実施する体制がある。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 夜間・早朝・休日のサービスは行っていない。

18. 訪問基準や業務基準を作成し、それに従ってサービスを提供していますか。

3. 訪問基準や業務基準を作成し、それに従ってサービスを提供している。
2. 上記の内容はほぼできているが、一部不十分な点がある。
1. 基準はあるが、あまり活用されていない。

19. 物品や衛生材料、消毒薬の管理は適切に行っていますか。

3. 訪問看護に必要な物品や衛生材料、消毒薬等を常備し、取り扱いや保管、点検について適切に管理している。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 適切に管理できていないことがある。
20. 必要な医療機器を迅速に調達できる体制ができていますか。
3. 吸引器や酸素濃縮器など医療機器を取り扱う上で、業者など関係機関との連携体制を整えている。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 関係機関との連携体制はあまり整備できていない。
21. 訪問看護施設としてのスペースを確保していますか。
3. 基準人員に応じた広さや訪問看護を行う上で必要なスペースを確保している。
(3～5大規模で約30平方メートルのオフィスや洗面所を確保し、オフィスには相談コーナーや記録保管スペース、事務スペース、職員の休憩所、キッチン等を確保している。)
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼ確保している。
 1. 十分な広さがなく、3に示したスペースに不足が多い。
22. 訪問看護の経過や結果を必要時主治医、関係機関、施設に速やかに報告していますか。
3. 訪問看護の経過や結果を主治医、関係機関、施設に速やかに報告している。
 2. ほぼ報告できている。
 1. あまり報告できていない。
23. 提供した看護サービスの評価を定期的に行っていますか。
3. 評価可能な記録用紙やチェックリストの活用、事例検討などによって、看護サービスの効果を定期的に評価している。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 評価はあまりできていない。
24. 提供した看護サービスについて利用者・家族からの評価を受けていますか。
3. 利用者・家族に対し満足度調査などを実施し、提供した看護サービスがニーズを満たしているか把握している。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 満足度調査などは実施しておらず、評価に関する情報はあまり把握できていない。

iv 感染管理

25. 適切な感染対策を実施していますか。

3. 情報を把握し、具体的な感染対策を立て、それに従ってマニュアルやパンフレットを整備し、感染対策を実施している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 感染対策は不十分で、感染予防はあまりできていない。

26. 感染予防について、スタッフに教育を行っていますか。

3. 感染予防の教育プログラムを設定し、それに従ってスタッフの教育を十分に行っている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. あまり行っていない。

27. 感染症が発生したときの対応方法を決め、それに従い実施していますか。

3. 感染症が発生したときの状況の把握、届出、職員間への周知などの対応方法についてマニュアルを整備し、それに従い実施している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 感染症発生時の対応方法の取り決めは不十分で、的確に対応できないことがある。

28. 感染予防や感染症の早期発見のために、スタッフに必要な健康診断や検査を実施していますか。

3. 健康診断や感染症予防対策に必要な検査を実施している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. あまり実施できていない。

29. 感染性廃棄物の処理方法を明確にし、適切に管理していますか。

3. ケアや処置によって排出する廃棄物の内容、運搬、保管、処理方法を明確にし、職員全員で徹底した管理を行っている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. あまり適切な管理ができていない点がある。

30. 感染性廃棄物を排出する際は利用者に説明し、医療機関で適切に処理していますか。

3. 処理が適切に行なわれたことを確認している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 管理に不十分な点が多い。

v 事故・緊急対策

31. 事故発生時の対処方法を定め、適切に対処していますか。

3. 事故発生時の届出、職員間への周知方法、対応方法などの対処方法についてマニュアルを整備し、適切な対処を行っている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 取り決めがあいまいで、適切な対処をあまり行っていない。

32. 利用者に対する補償対策を立てていますか。

3. 賠償責任保険に加入するなど、利用者・家族に怪我を負わせたり、物を破損するなどの事故に対する十分な補償対策を立てている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 補償対策は十分に立てていない。

33. 管理者、職員に対する補償対策を立てていますか。

3. 傷害保険に加入するなど、管理者・職員の職務中の事故に対する補償対策を十分立てている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 補償対策は十分に立てていない。

34. 利用者の急変時の対応ができていますか。

3. 救急患者や突発的な出来事にも柔軟に対応できる体制を整備し、適切に対応できている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 緊急時の体制は不十分であり、あまり対応できていない。

35. 災害に対する事前の対策を立てていますか。

3. 災害発生時の対応についてマニュアルを整備し、1ヶ月に1回は施設・設備を点検し、防災訓練などの災害対策を実施している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 災害発生時の緊急対応は明確にされておらず、災害対策は不十分である。

vi 記録、情報管理

36. 訪問看護に用いる個人記録の様式は、サービスの評価や事業の運営管理に活用できるように整備していますか。

3. 個人記録の様式は、評価や管理に活用できるように、サービスの計画、実施、評価を簡便に記入できるように整備している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 個人記録の様式は、あまり整備できていない。
-
37. 記録方法の統一を図っていますか。
 3. 記録方法の統一ができている。
 2. ほぼできている。
 1. あまり統一できていない。
-
38. コンピュータなどOA化による情報管理システムを導入し、効率化を図っていますか。
 3. コンピュータなどの情報管理システムを導入し、利用者のデータベース、経過記録、日報・月報、財務録等の記録において業務の効率化を図っている。
 2. 上記の内容はほぼできているが、一部不十分な点がある。
 1. OA化による情報管理システムは十分にできていない。
-
39. 守秘義務等、個人情報保護の方策をとり、適切な方法で訪問看護記録を管理し、また、記録開示の手順を整え、適切な対応ができていますか。
 3. 利用者の記録内容や個人情報の流出防止の方策として、記録の複写、紛失、汚損、改ざん等を防止し、個人の許可なき情報の利用を避け、また、記録の開示は手順に沿って適切に行っている。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 上記の施策は不十分であり、プライバシーが守られないことがある。

vii 教育・研修・研究

40. 採用時に訪問看護の教育プログラムを実施していますか。
 3. 面接技術やフィジカルアセスメント、看護技術、情報収集方法、記録方法、専門職としての態度などの教育プログラムを組み、採用時に実施している。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. プログラム通りに実施できないことが多い。
-
41. スタッフの能力に応じた必要な研修を定め、採用後も研修の機会を提供していますか。
 3. 採用後も必要な研修を段階に応じて受けられる基準を設定し、計画的に実施している。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 研修の機会はあまり提供できていない。
-
42. スタッフの行っている看護が適切であるかどうか常に把握し、適切な助言・指導を行っています。
 3. スタッフの行っている看護ニーズの把握・計画・援助が適切であるかどうかを常に把握し、適

切な助言・指導、評価を行っている。

2. ある程度把握し、ほぼ適切に行っている。

1. それらの把握は不十分であり、あまり適切にできていない。

43. スタッフへの助言・指導（スーパービジョン、コンサルテーション）を行うための機会を設定していますか。

3. スタッフへの助言・指導（スーパービジョン、コンサルテーション）を行うための機会を設定し、実施している。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. あまりできていない。

44. 管理者は、必要に応じてスタッフと同行訪問し、適切な助言・指導を行っていますか。

3. 管理者は、初回訪問時や必要時に同行訪問し、適切な助言・指導を行っている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 同行訪問はしない場合が多い。

45. 定例のカンファレンスや事例検討会を実施し、適切な助言・指導を行っていますか。

3. 定例のカンファレンスや事例検討会を実施し、適切な助言・指導を行っている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. カンファレンスや事例検討会はあまり実施できていない。

46. 訪問看護の水準、質の継続的な向上を図るために、倫理的に配慮した研究活動を行っていますか。

3. 訪問看護の水準、質の継続的な向上を図るために、倫理的に配慮した研究活動を行い、研究成果を発表し、訪問看護に活かしている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 研究活動には消極的で、訪問看護にあまり活かしていない。

47. 社会の変化・制度に関する情報収集、学習会や研究会を行っていますか。

3. 社会の変化・制度に関する情報収集を常に行い、定期的に学習会や研究会を行っている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 情報収集は不十分で、学習会や研究会はあまり行っていない。

viii 連 携

48. デイサービスやホームヘルプサービス、入浴サービス、日常生活用具の給付など社会資源を活用するための助言を行っていますか。

3. 必要なサービスを判断し、社会資源の具体的な利用方法やサービスの選択について、パンフレットなどを用いて助言している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. あまり適切な助言ができていない。

49. 利用可能な施設を選択するための助言を行っていますか。

3. 利用者・家族にデイケア、ショートステイ、グループホーム等、利用可能な施設の具体的な利用方法やサービスの選択について助言している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 施設の利用方法や選択について、あまり適切な助言ができていない。

50. 保健医療福祉などの担当者間で十分な話し合いを行い、連携していますか。

3. サービス開始時や利用者の変化に応じ、ケア方針・実施内容・役割分担について十分話し合いをしている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 話し合いを行っていないことが多い。

51. 主治医と連携していますか。

52. 医療機関や介護老人保健施設、介護老人福祉施設など入所施設と連携していますか。

53. 市町村の保健部門や保健所などと連携していますか。

54. 行政の福祉課、介護保険担当課、社会福祉協議会、福祉事務所と連携していますか。

55. 他の訪問看護ステーションや在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、ヘルパーステーションと連携していますか。

〈51～55の設問について〉

3. 常時連絡を取り、利用者のケア方針、実施内容、役割分担等の情報を共有し、連携している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 連絡の方法はあいまいで、連携しにくいことが多い。

56. 保健医療福祉の関係機関の間に協議会や推進委員会があり、定例の調整会議などの企画・運営に参画していますか。

3. 保健医療福祉の関係機関の間に協議会や推進委員会があり、定例の調整会議などの企画・運営に参画している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 調整会議などは、あまり参画していない。

57. 保健医療福祉の関係機関との定例の調整会議では積極的に発言し、活発な討議をしていますか。

3. 定例の調整会議には必ず出席し、積極的に発言し、活発な討議をしている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 活発な討議はあまりできていない、あるいは欠席することが多い。

58. 種々の機関や関係者間の調整を円滑に行っていますか。

3. 関係機関との調整を行い、問題があれば修正し、多機関と協働で積極的に在宅ケアシステムづくりや資源の開発も行っている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 調整は十分に行っていない。

59. 患者・家族会と連携していますか。

3. 患者・家族会の情報を把握し、利用者に紹介している。患者・家族会を支援、協力し、常に連携できる体制にある。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 患者・家族会の情報が少なく、利用者に紹介することはあるが、連携することはあまりない。

60. ボランティア・自主グループなどと連携していますか。

3. ボランティアや自主グループなどの情報を持ち、利用者に紹介している。教育を行うなど支援し、常に連携できる体制にある。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 連携することはあまりない。

B 訪問看護サービスの評価

i. アセスメント・計画・評価

61. 必要な情報を的確に把握し、利用者のニーズを判断していますか。

3. 必要な情報についてアセスメント票を用いて総合的に把握し、利用者・家族のニーズを判断している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 情報収集やアセスメント項目は不十分で、包括的なアセスメントがあまりできていない。

62. 生活環境を的確に把握し、助言、調整を行っていますか。

3. 生活環境についてアセスメント票を用いて把握し、利用者・介護者に合った生活環境を整える方法を助言している。住宅改造についても適切に助言している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 生活環境をアセスメントする書式は用いておらず、十分に助言や調整ができないことが多い。

63. 利用者のニーズをもとに、具体的な計画を立てて看護を提供していますか。

3. アセスメントから得られた問題点やニーズから具体的な目標（長期・短期）を設定し、解決に向けた計画を立てている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 具体的な目標は設定されず、ニーズに沿った個別的な計画を立てていないことがある。

64. 利用者や家族の健康状態、自立度などを評価し、適宜計画の見直しを行っていますか。

3. 健康状態の変化、目標の達成度、自立度、介護力、関係職間の連携などについて定期的に評価し、計画の見直しを行っている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 評価はあいまいで、適切な計画の見直しはあまりできていない。

ii. 看護サービスの内容

日常生活・療養生活のケア

65. 利用者の病状を把握し、適切なケアや助言を行っていますか。

3. 利用者の訴えやフィジカルアセスメントによる身体状況や病状を的確に判断し、それに沿って適切にケアや助言を行っている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 病状の把握は不十分なことがあり、適切なケアや助言ができていないことがある。

66. 食事（心身の機能に応じた食事）の観察と適切なケアを行っていますか。

3. 栄養状態（食事量、体重の変化、血液検査値等）や私欲路動作、嚥下能力等をアセスメントし、それに基づいて適切にケアや助言を行っている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 観察は不十分で、適切なケアや助言ができていないことがある。

67. 排泄の状態の観察と適切なケアを行っていますか。

3. 排泄の状態（排泄物の性状、排泄回数、異常の有無、緩下剤や利尿剤の服用状況、排泄動作等）を観察し、それに沿って適切にケアや助言を行っている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 観察は不十分で、適切なケアや助言ができていないことがある。

68. 清潔の状態の観察と適切なケアを行っていますか。

3. 清潔の状態を常に観察し、適切にケアを行っている。清潔ケアの方法をパンフレットや実演を通してわかりやすく助言している。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 観察は不十分で、適切なケアや助言ができていないことがある。

69. 利用者・家族に十分な服薬指導を行っていますか。

3. 服薬状況を把握し、利用者・家族に十分な服薬指導を行っている。副作用の有無について常時観察し、必要時医師への報告を行っている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 服薬状況の把握、服薬指導、副作用の観察、医師への報告がスムーズにできないことが多い。

医療処置

70. 医療依存度の高いケース（褥瘡・カテーテル管理・在宅酸素・IVH・CAPDなど）の在宅ケア継続の可否判断を的確に行っていますか。

3. 在宅医療を実施する上での基準を設け、それに基づいて開始及び継続の可否について、利用者のQOLを考慮し看護の視点から判断している。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 開始および継続の可否について、看護の視点で判断できないことがある。

71. 医療依存度の高いケース（褥瘡・カテーテル管理・在宅酸素・IVH・CAPDなど）について処置や指導を行う場合、適切かつ安全に看護技術を提供していますか。

3. 各医療処置や管理方法についてのマニュアルを作成しており、入院中から主治医のもとで実施するなど技術の確認を行い、安全に行っている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 技術の習得は不十分で、あまり適切かつ安全に提供できていない。

72. 利用者・家族が行う医療処置に大使、安全性の確認と必要な援助を行っていますか。

3. 利用者・家族向けのパンフレットとマニュアルを作成し、それに沿って十分な安全性の確認と援助を行っている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. パンフレットはほとんどなく、安全性の確認や助言ができない場合が多い。

73. 在宅で用いる医療機器について、利用者・家族へ使用方法や緊急時の対処方法について十分説明していますか。

3. 人工呼吸器や酸素濃縮器など医療機器の使用状況をモニタリングし、適切な使用方法や緊急時の対処方法について、利用者・家族向けのパンフレットを用いて助言している。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 十分な援助ができない場合が多い。

74. 医療機器の故障など緊急時の対応、定期点検についての手順を定め、スムーズに対応していますか。

3. 緊急時の連絡先、対応方法、定期点検などについてマニュアルがあり、異常が発生した場合でも、常に適切に対応できる。利用者・家族へも対処の仕方や連絡方法について具体的に助言している。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 緊急対応、連絡方法があいまいで適切に対応できないことがある。

リハビリテーション

75. 障害に対するリハビリテーションや寝たきり予防のための必要なケアと助言を行っていますか。

3. 障害に対するリハビリテーションや寝たきり予防のための利用者・家族向けパンフレットを作成し、必要性和方法について適切に助言している。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 適切に助言できないことがある。

76. 日常生活動作の維持・拡大のために適した機能訓練の助言を行っていますか。

3. 日常生活動作の維持・拡大のための機能訓練に関するパンフレットを作成し、利用者の機能訓練プログラムに沿って具体的に実施するための助言を行っている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 個別的な助言ができていないことが多い。

77. リハビリテーションの専門スタッフや関連職種と連携し、ケア方針を共有していますか。

3. 各専門スタッフと必要時および定期的なカンファレンスを実施し、ケア方針を共有している。必要時リハビリテーション専門スタッフと連携している。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. リハビリテーション専門スタッフとケア方針を共有していないことが多く、連携できていない。

78. デイケア・デイサービス、機能訓練教室などを利用するための助言、調整を行っていますか。

3. 利用者、家族に必要なサービスについて具体的な利用方法やサービスの選択について助言している。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 適切に助言できないことが多い。

79. リハビリテーションを行う上での安全性の確保と助言を行っていますか。

3. 安全性を適切にアセスメントし、安全な環境を確保するための助言を行っている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 安全性の確保について助言していないことがある。

感染管理

80. 感染予防について利用者・家族へ適切に指導していますか。

3. 感染予防の必要性和具体策を利用者・家族にパンフレットなどを用いてわかりやすく指導している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 利用者や家族に対し十分に指導できていないことがある。

81. 感染症に罹患している場合、利用者・家族へ適切に処置を得行い、対処方法を指導していますか。

3. 感染予防の方法、感染部位の処置方法について、具体策を利用者・家族にパンフレットなどを用いてわかりやすく指導している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 利用者や家族に対し十分に指導できていないことがある。

82. 感染性廃棄物の取り扱いについて利用者・家族へ適切に指導していますか。

3. 血液や滲出液等が付着した注射針、カテーテル、ガーゼなどの感染性廃棄物の取り扱いについて、利用者・家族へ適切に指導している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 感染性廃棄物の取り扱いについての指導は十分にできていない。

ターミナルケア

83. 在宅でのターミナルケアについて、利用者や家族、親族との間に合意ができていますか。

3. 在宅ターミナルケアにおいて予想される過程について具体的に説明し、利用者・家族が在宅ケアを希望し、家族が看取る意思があるかなどの確認を得ている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 在宅ターミナルケアについて具体的な話し合いができないことが多く、また利用者・家族の意思の確認ができていないことが多い。

84. 最期を看取る方法と場所について、利用者・家族の合意が得られていますか。

3. 最期を看取る場所について確認し、在宅で看取る場合は最期を看取る方法（患者へのケアの仕方、主治医への連絡、死亡確認、死後の処置など）について具体的に説明し、合意を得ている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 看取る場所の確認や、在宅で看取る方法について十分な話し合いができず、合意が得られないことがある。

85. 在宅でターミナルケアを継続するための関連職種によるチーム体制が取れていますか。

3. チームでケア方針を定め、各スタッフの役割を明らかにし、随時情報交換やカンファレンスを行っている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. チーム体制が取れないことがある。

86. 病状や症状の観察と、優先度を配慮した医療処置、ケアを実施していますか。

3. 継続的に病状や症状の観察を行い、利用者の希望を尊重した適切な医療処置やケアを提供している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. ターミナル期の病状や症状の観察は不十分で、上記のような配慮はあまりできていない。

87. 安楽と苦痛緩和のために必要な看護技術の提供と助言を行っていますか。

3. 十分な症状コントロールができていないか適切にアセスメントし、随時医師へ報告し指示を受けている。安楽な体位の工夫や看護技術によって苦痛を緩和する方法を利用者・家族に助言している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. アセスメントは不十分で、苦痛の緩和はあまりできていない。

88. 死の受容を含め、精神的な側面への援助をしていますか。

3. 利用者と家族が死を受け入れるために、常に死に対する問いかけや不安に耳を傾け、気持ちを尊重した対応と、精神的な援助をしている。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
1. 不安に耳を傾ける努力はしているが、精神的な援助ができないことが多い。

精神的援助・権利擁護

89. 受療に必要な精神症状や問題を早期に発見し、適切に対応していますか。

3. 利用者と家族の生活全般について継続的に観察し、痴呆症状や精神的な変化を早期に捉え、その対処方法や受療（専門医療機関への受診や精神保健センター、保健所などへの相談）について助言している。
2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 受療の必要性の判断や助言ができないことが多い。
90. 利用者や家族の精神的な悩みや不安を傾聴し、適切な援助を行っていますか。
3. 利用者や家族の精神的な悩みや不安、生きがいに関する相談、助言を行っている。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 精神的な悩みを聞くことは少なく、それに対する相談、助言はあまりできていない。
91. 利用者・家族が自ら権利を主張できない状況にある場合には、自己決定できるように支援し、適切に対応していますか。
3. 利用者・家族が自ら権利を主張できない状況にある場合には、権利を守り、自己決定できるように支援し、また代弁者としての役割を果たしている。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 上記の内容はあまりできていない。

家族支援

92. 家族と利用者との間の良好な人間関係をつくるための相談、助言を行っていますか。
3. 家族と利用者が良好な人間関係を保てるように、それぞれの相談にのり、中立的立場で助言を行っている。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 家族と利用者との関係調整はあまりできていない。
93. 介護者の健康管理と必要なケアを行っていますか。
3. 介護者の健康に気を配り、健康管理や健康教育、必要なケアを十分に行っている。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. あまりできていない。
94. 急変時や介護力に変化があった場合、在宅ケアが可能か否かの判断を行っていますか。
3. 急変時や介護力に変化があった場合、アセスメント票などを用いて家族介護力を再評価し、在宅ケアの継続が可能か否かの判断を行っている。
 2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。
 1. 再評価は行っておらず、在宅ケアの継続について判断ができないことがある。
95. 家族介護力、ニーズについて判断し、適切な援助プランを立てていますか。
3. 家族介護力やニーズについてアセスメント票を用いて判断し、それに基づいて適切な援助プランを立てている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 客観的な判断は行っておらず、適切な援助プランが立てられないことがある。

96. 介護力を改善（介護代替者の確保など）するための働きかけを行っていますか。

3. 家族介護力についてアセスメント票などを用いて判断し、他の家族や親族の協力を求めたり、ホームヘルプ、デイケア、ショートステイ等の導入を検討するなど、介護力を補うための働きかけを積極的に行っている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 家族介護力のアセスメントは行っていないことが多く、介護力を補うための働きかけはあまりできていない。

97. 介護技術について家族へ適切に助言していますか。

3. 介護方法に関する家族向けパンフレットなどを用いて、介護者の個別性や家庭の状況に合わせた助言を行っている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 介護者の個別性や家庭の状況に合わせず、画一的な助言を行うことが多い。

98. 急変時の手当の方法、連絡方法等について助言を行っていますか。

3. 病状の観察ポイント、急変時の手当の方法、連絡方法等について具体的に明記し、家族へ適切に助言している。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 緊急時の対応に関する具体的な助言は、あまりできていない。

99. 家族の相談者として精神的な支えになっていますか。

3. 家族との間に信頼関係を築き、良き相談者として精神的な支えになっている。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 家族との信頼関係を築くことが難しく、精神的な支えとなっていないことが多い。

100. 経済的負担を軽減するための公的給付や各種手当の支給に関する情報提供と支援を行っていますか。

3. 公的給付や各種手当の支給を受けているか把握し、パンフレットなどを用いて、受給のために必要な情報を提供している。

2. 上記の内容について不十分な点もあるが、ほぼできている。

1. 給付を受けているか把握していないこともあり、受給のために必要な情報提供があまりできていない。